

フットパス神美コース 参加者募集！

～たちばなの郷でお菓子の神様に会えるコース～



豊岡市神美地区にある、お菓子の神様を祀る「中嶋神社」や、江戸時代の大庄屋で国の登録有形文化財に登録されている「平尾源太夫邸」などを巡りながら、歴史とロマンのいにしえの香りが漂うたちばなの郷と一緒に味わってみませんか？

日 時 令和6年4月6日（土） 9：00～12：30ごろ 約6km
集 合 神美地区コミュニティセンター 豊岡市三宅 81-1（0796-27-0727）
参加費 1,500円（食事・保険・資料など）
定 員 20人 ※切3月31日（日）
用 意 雨天対策一式

★主催・申込先：豊岡観光協会 〒668-0031 豊岡市大手町 3-2
電話 0796-22-8111/FAX0796-22-8112
メール toyooka-kanko@toyo-kan.jp

【申込書】

お 名 前	住 所	電話番号（できれば携帯）

／ おすすめスポット ／



勤皇の志士・田中丙内介は、村岡村香住の區村の家に生まれ、のちに明治天皇の良友係となりました。寺田屋騒動で薩摩藩に捕らわれ、西兎島へ送還される机舟中に殺害されました。



臨濟宗南無寺のお寺で、本堂では
掛画・写真・切り絵などの展示を随分
にされています。境内の「いばり池園」
に参拝される方もおられます。希望により
座禅の体験もできます。



江戸時代の大庄屋で、約4,000㎡の敷地内に大小20もの建物が点在しています。国の登録有形文化財で、1866年に建てられた主屋は、豊岡の宮大工によるものと伝えられています。



2020年に向石町片岡から豊岡市片岡に移設された風塔。通風のすぐ横にあり、附近でコウノトリも見られる貴重な風塔です。そっと見守りましょう。



3世紀後半から4世紀前半の大塚で銅鉄等107点の出土があり、長寿園指定文化財となっています。1世紀に中国で作られた近畿最古の銭や身狭町の銭と書われるものも含まれています。



太陽光パネルを一定の間隔をあけて設置することで、日射を確保しながら
農業と発電事業を両立することができ
ます。パネルの下で米、ブルーベリー、
かぼちゃなどを育てています。



黒船、開港開国守命（たじまいのみこと）がまつられた社に、7世紀住守、鑑天
天皇時代の創祀とされている。開港開国守命は、鑑天天皇の命で、翌年
の月に命を授けられたことでも黒船（鑑）を海客の舟に出来た、命がけで神の
實を手に入り日本へ傳ってきたと、天皇は即位の後で、想ひ遣ひ大東道開
守は、天皇の鑑（鑑）に、神を拜したまふ意に於いては、神の遣ひ大東道の
上皇として御事なされ、そのことなど臣等皆仰ぎ「鑑神」と記され方々に
また伝えられてゐる。故に、今神村には全国の黒子の神社主として敬慕を受け、
日本各地に伝はれてゐる。

登同銀光協會

〒668-0031 兵庫県豊岡市大手町3-2
tel.0796-22-8111 fax.0796-22-8112

人 6.0km 3時間30分

豐岡市

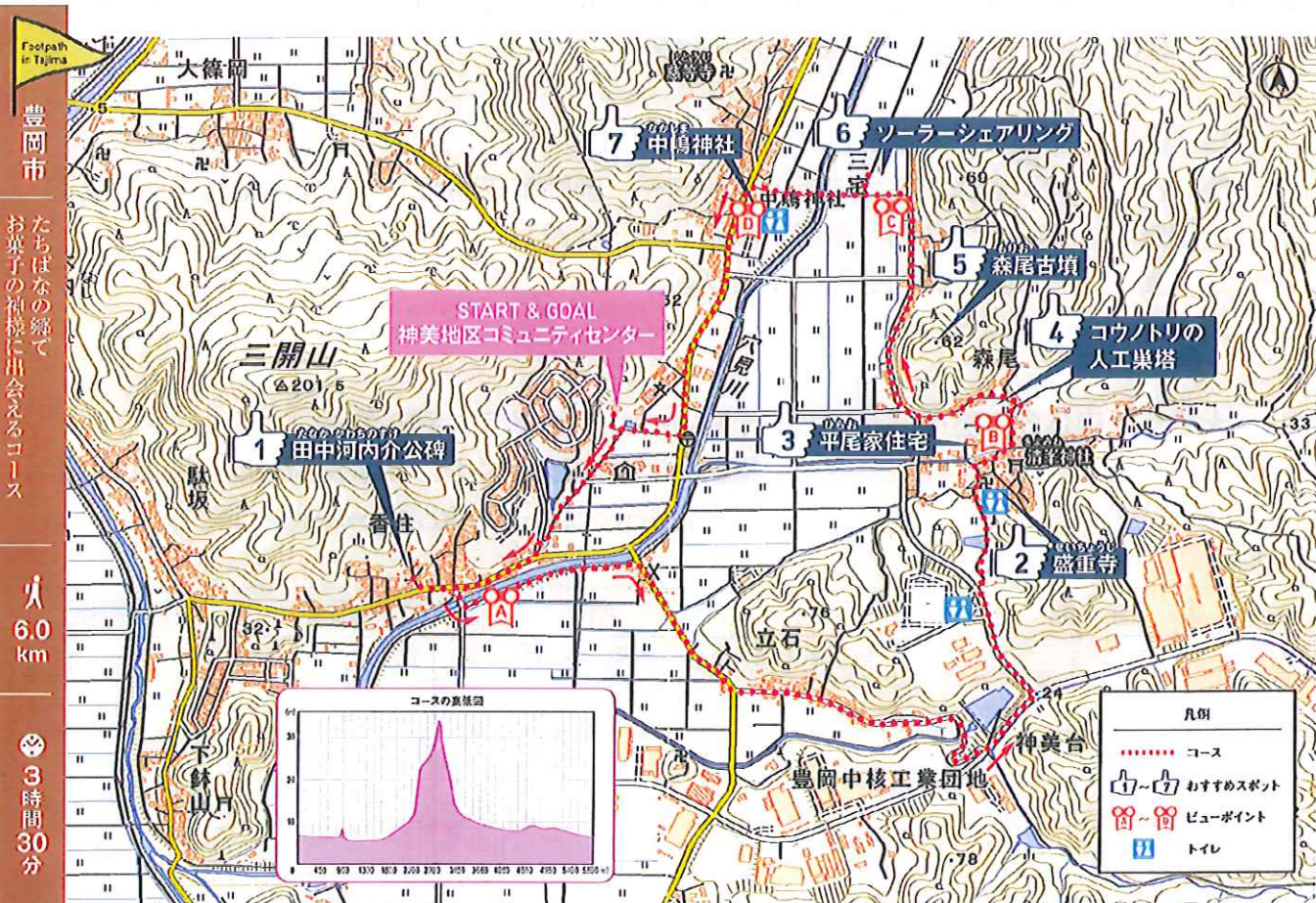


Footpath in Tajima

たちばなの郷で
お菓子の神様に会える
コース



太古の昔、神美は海に面していました。地区にはブリ山と呼ばれる地名があり、また近くには多くの貝塚が発見されております。神美地区の中心にはお菓子の神様をまつる神社の総本社「中嶋神社」があり、歴史とロマンのいにしへの香りが漂うたちばなの路を味わってください。



この地図は、国土地理院の1/25000地形図を使用したものです